

マネックスグループ株式会社
株主説明会

マネックスグループの事業戦略について

マネックスグループ株式会社

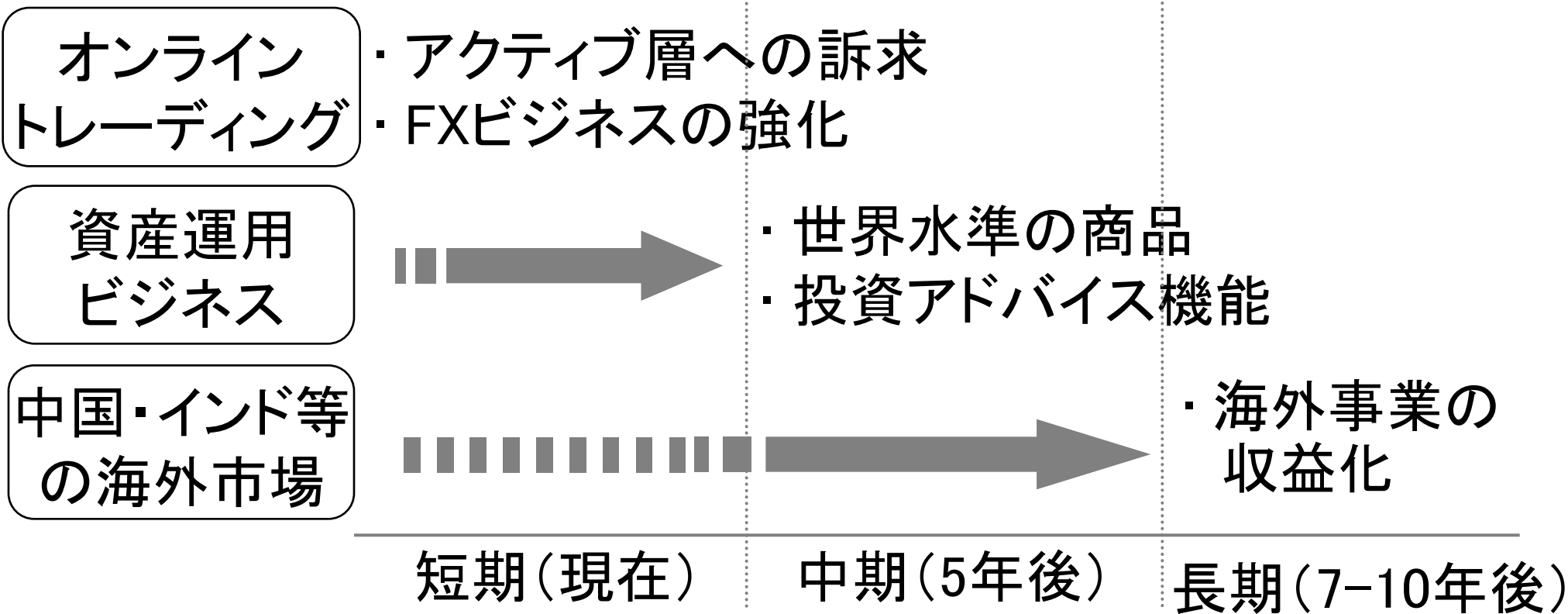
代表取締役社長CEO

マネックス証券株式会社

代表取締役社長CEO

松本 大(まつもと・おおき)

今後の成長性と具体的な経営施策



最先端の技術と世界水準の商品・サービスを提供する
グローバルな個人投資家向けオンライン金融機関

マネックス証券の経営方針と短期戦略について

マネックスグループ株式会社

代表取締役副社長CFO

マネックス証券株式会社

代表取締役副社長COO

工藤 恭子(くどう・きょうこ)

マネックス証券の事業戦略

■基本的な方向性

- オンラインによる個人のための総合金融サービスを提供
- 機関投資家と同水準の投資機会を個人投資家に提供

■マネックス証券が提供する商品・サービス

- 世界中から、幅広い金融商品・サービスを選別
- 投資教育の拡充、展開
- システム、商品・サービスのインフラに加え、「知のインフラ」を構築

短期経営戦略:コスト削減による損益分岐点の低減

2009年度予算のポイント ~ 10億円規模のコストカット

- ・ システム関連コスト、情報料等の削減
- ・ マーケティング戦略、サービスの見直し



四市場の一日平均個人売買代金が4,500億円水準でも
黒字化できるコスト体質を実現



コスト構造のさらなる改善に向けて

- ・ 商品・サービスの再評価
- ・ 組織の再編と業務の統廃合
- ・ ITの活用

短期戦略:オンライントレーディング(1)

■ アクティブ・トレーダー層への訴求

トレード・サイエンスの完全子会社化(2008年7月)
グループ内研究開発機関としても機能

最先端の情報科学と金融工学の成果を個人投資家へ還元



- 自動株式売買ロボット「カブロボ®」の展開
「カブロボ®」が投資助言する公募投信を設定予定
- トレーディングツールの開発
マネックス証券およびマネックスFXで提供予定

短期戦略:オンライントレーディング(2)

■FXビジネスの強化

マネックスFXの子会社化(2008年4月)

- ・ マネックスブランドのFX専門会社
→FXを主に取引する投資家層へのアクセス
- ・ FXトレーディング業務の集中管理
→為替のカバー収益を内製化
→取引手数料無料化
- ・ FXシステムのASP提供
(マネックス証券で新FXサービス「FX PLUS」を開始)
→機動的なサービス展開

マネックス証券の中期的な商品・サービス戦略について

マネックス証券株式会社

取締役

商品サービス部長

萬代 克樹(まんだい・かつき)

中期戦略：資産運用ビジネス(1)

■ 既存商品のサービス拡充と、 世界中からの商品ラインナップの構築

株式関連

- 米国ETF、米国株を取扱開始。個別銘柄を拡充予定
- 先物・オプションの改善や、新規トレーディング商品の導入などを計画

投資信託

- 1年間で66銘柄追加、総取扱本数193銘柄へ大幅拡充
- 投資家視点で、独自商品を企画・組成
- 個人の資産形成に役立つ、投信積立の利便性向上を予定

債券

- 「個人向けマネックス債」6ヶ月債、日経平均リンク債を取扱

マネックス証券の中期戦略「知のインフラ」について

マネックス証券株式会社

取締役

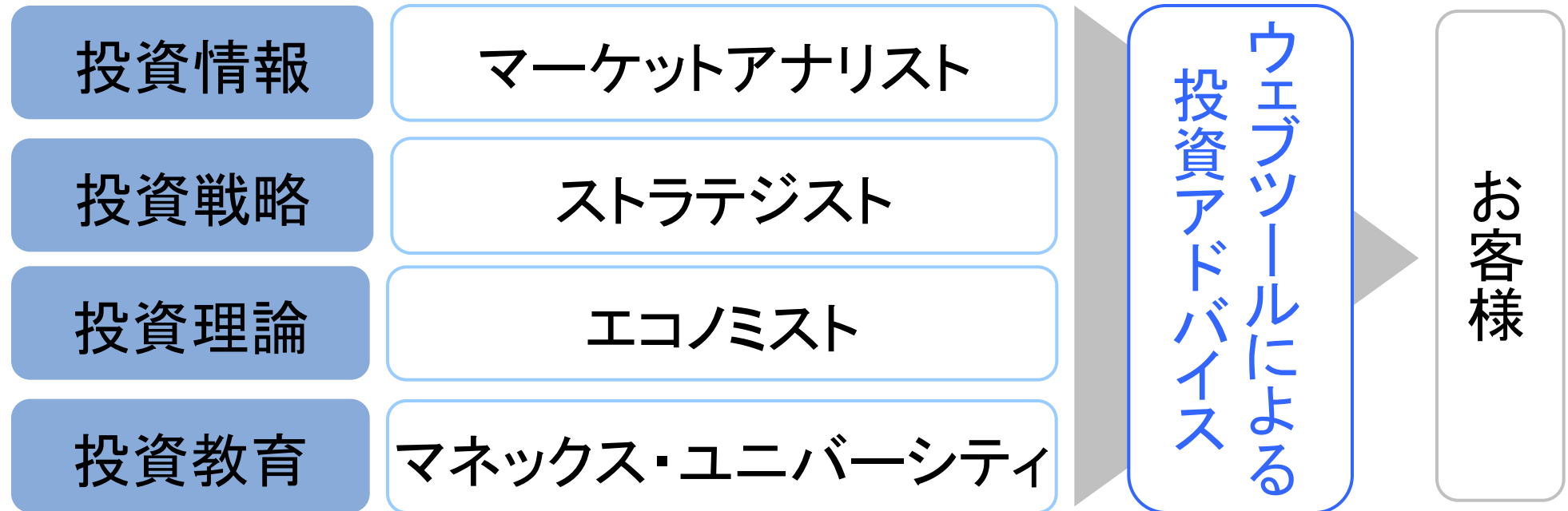
フィナンシャル・インテリジェンス部長

蓮尾 聡(はすお・さとし)

中期戦略：資産運用ビジネス(2)

■「知のインフラ」の構築

投資リターンの向上を目的とする、マネックスの新しい価値



ITをベースとした新しいインフラ

マネックスグループの長期戦略としての海外展開 および企業価値向上と株主還元について

マネックスグループ株式会社

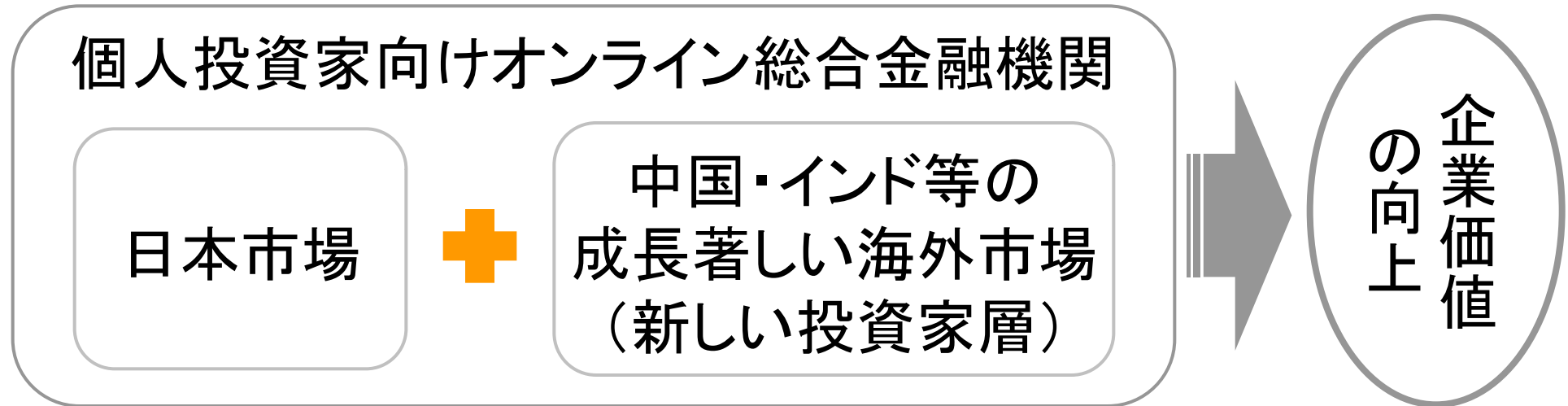
代表取締役社長CEO

マネックス証券株式会社

代表取締役社長CEO

松本 大(まつもと・おおき)

長期戦略：海外展開

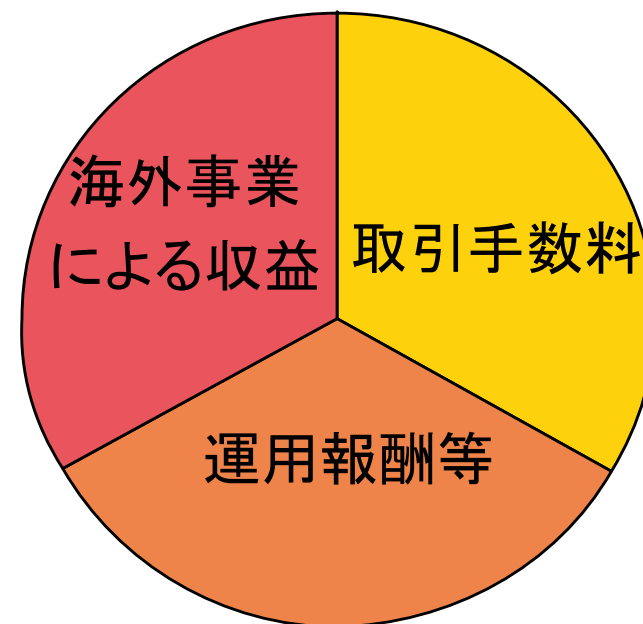
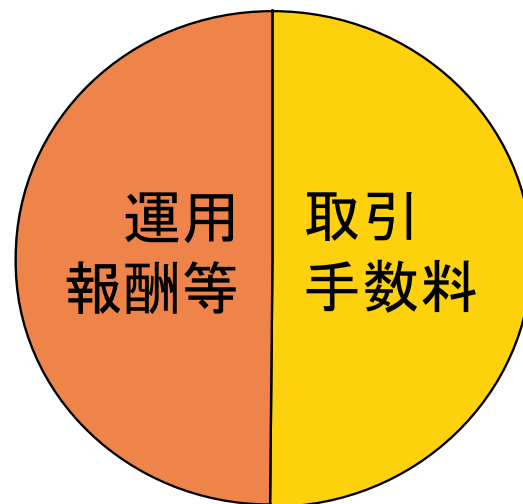
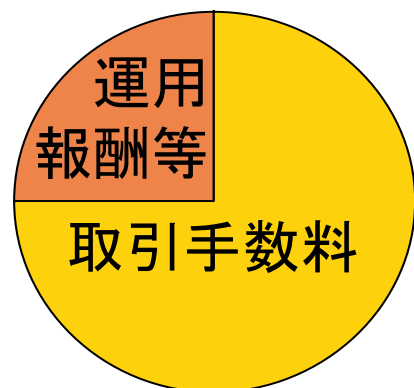


■具体的な展開

- 北京にマネックスグループの駐在員事務所を開設
- SEEC(中国証券市場研究設計中心)と合併会社設立に合意
北京で金融教育(研修)サービスを開始予定
- インドでの事業可能性について調査し、拠点開設を検討

収益構造の戦略的転換

■ 今後のイメージ



高付加価値サービス、運用商品等の充実、海外事業の展開により、収益源の多様化および拡大を図る

株主の皆様へ

- 配当と自己株式取得による還元 > 株主優待
- 営業収益の向上 + コストとリスクの管理 ⇒ 最終利益の向上
- 安定成長 + 成長戦略 ⇒ 攻めの経営



企業価値の向上



透明性が高く積極的な情報開示



市場価値に適正に反映されることを目指す

これをもちまして
マネックスグループ株式会社
第5回定時株主総会および株主説明会は
全て終了いたしました。

本日はありがとうございました。